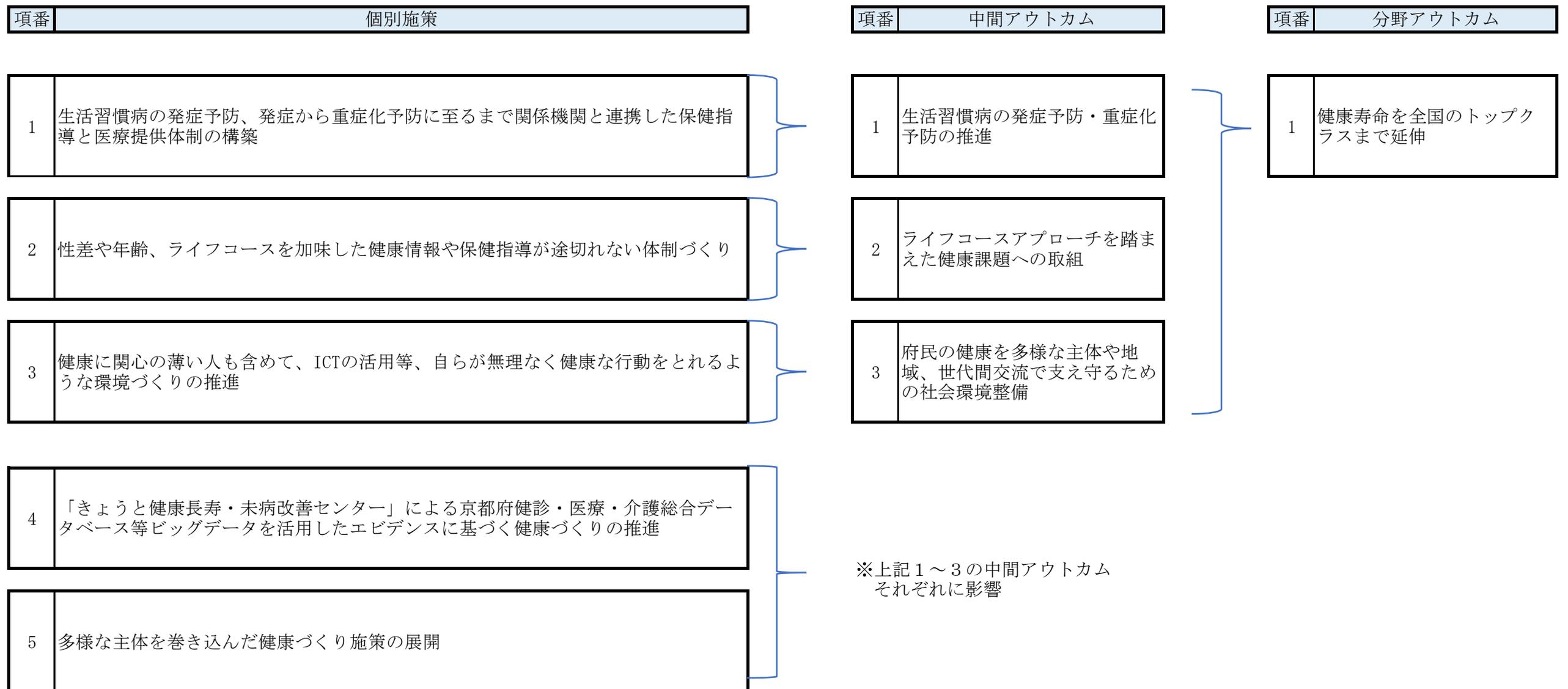
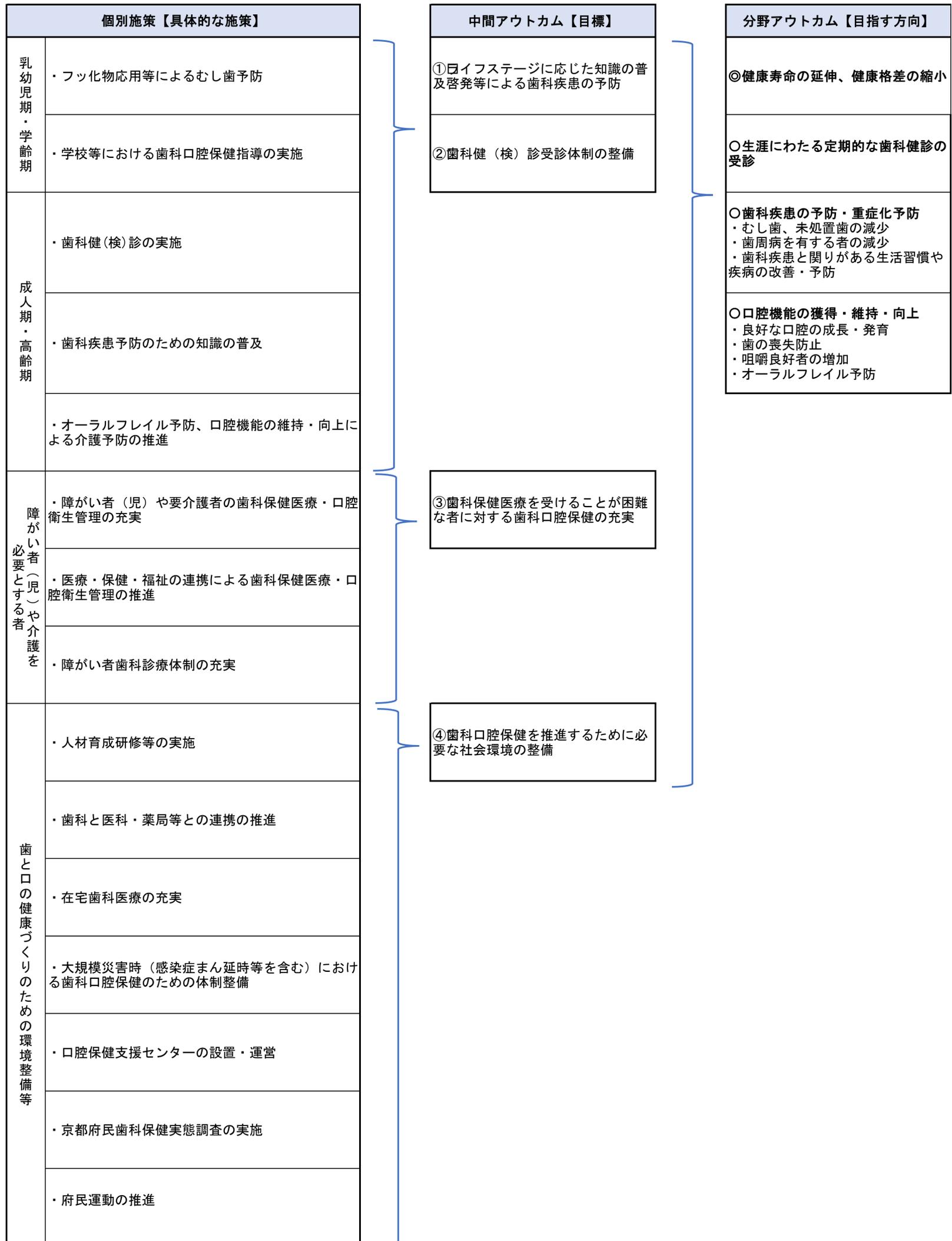


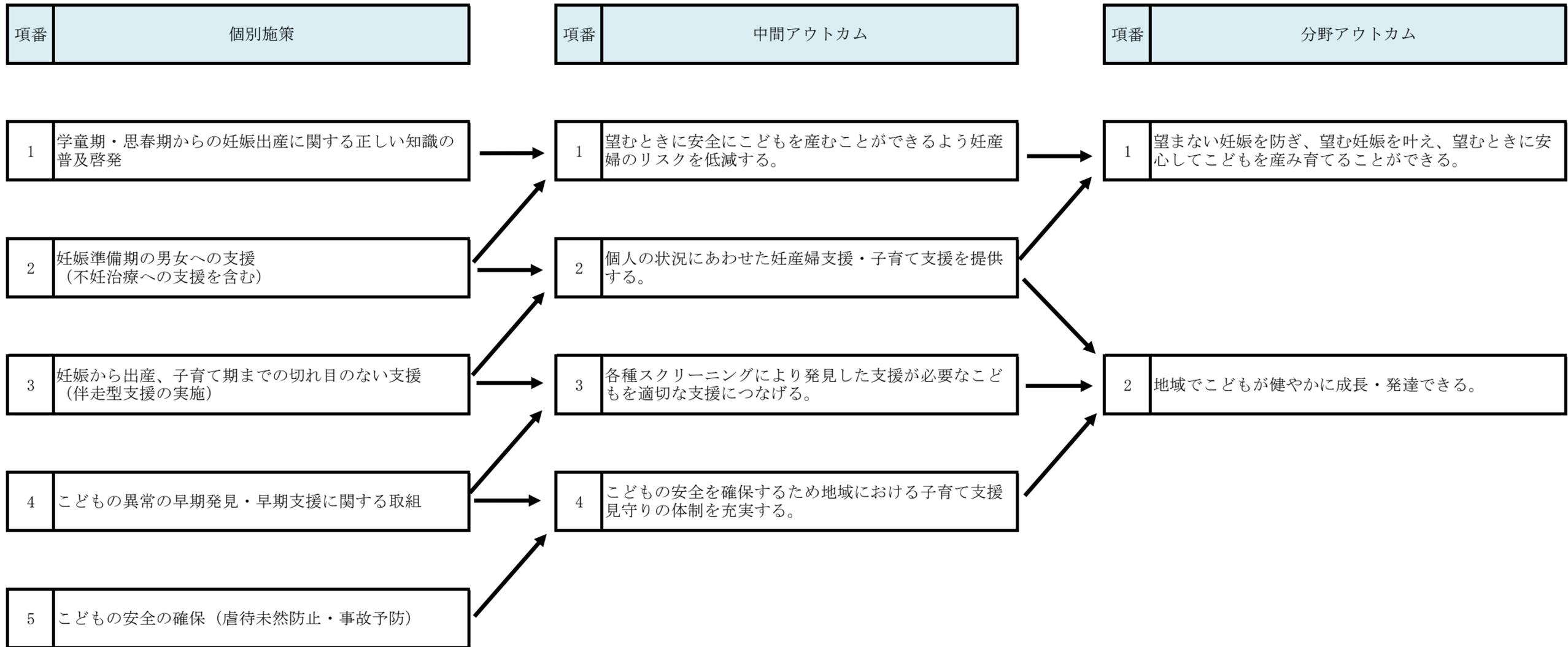
ロジックモデル（第3章1（1）生活習慣の改善）



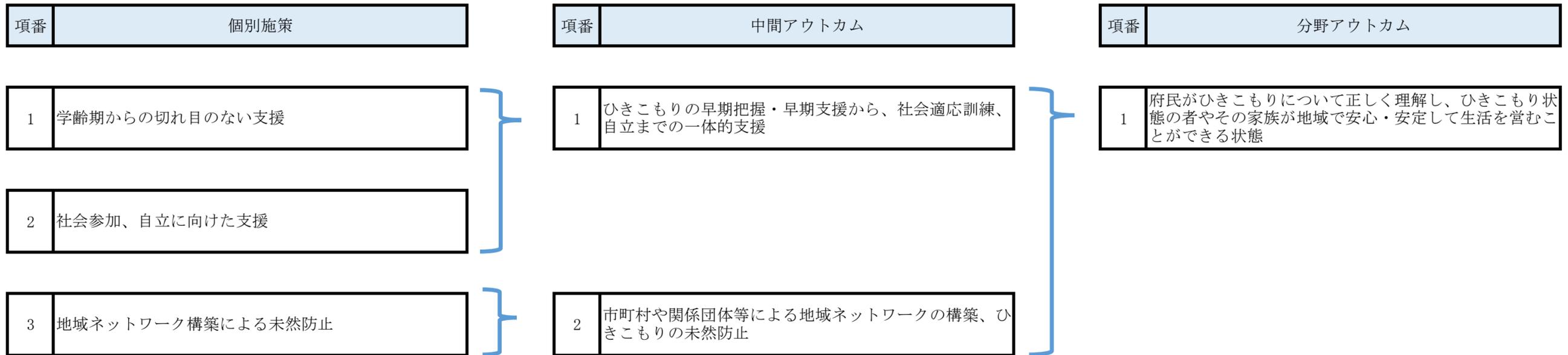
ロジックモデル(第3章1(2) 歯科保健対策)



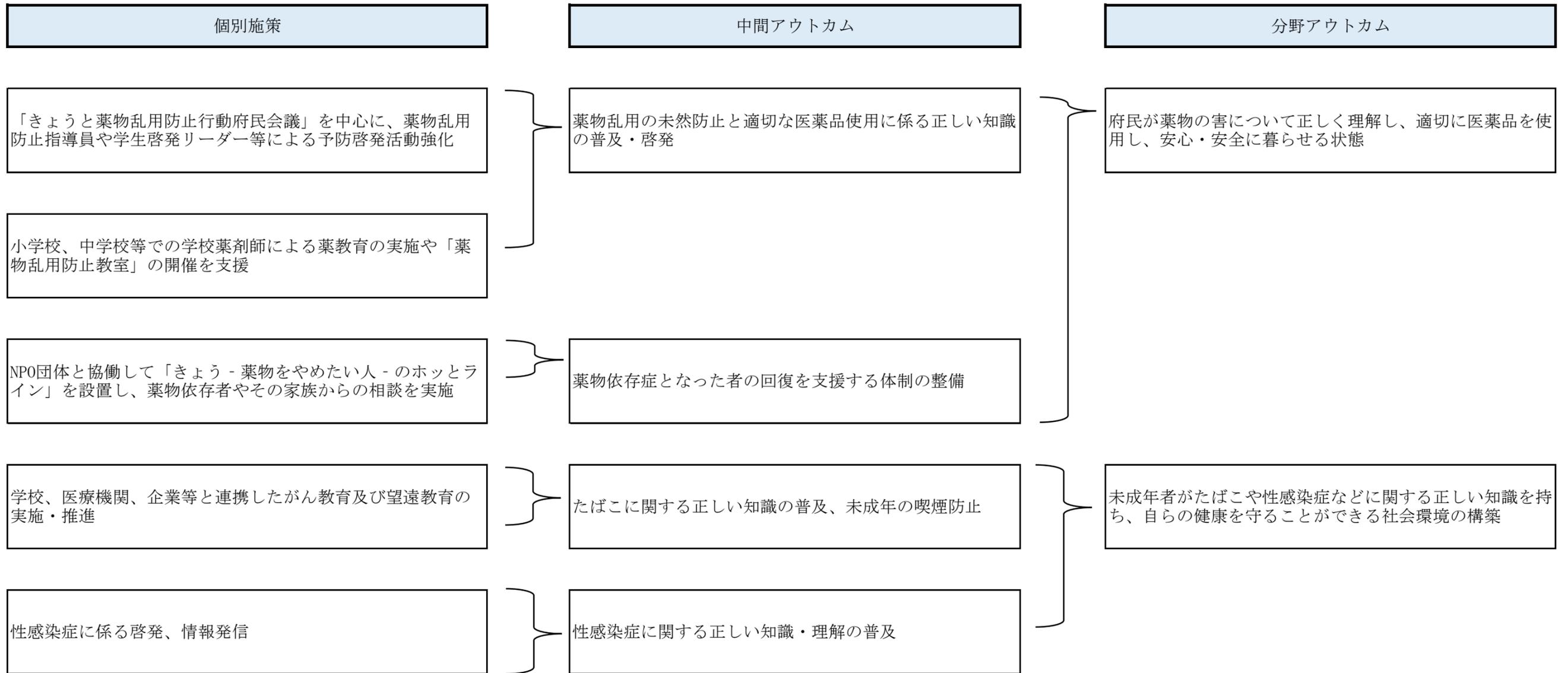
ロジックモデル（第3章1（3）：母子保健対策）



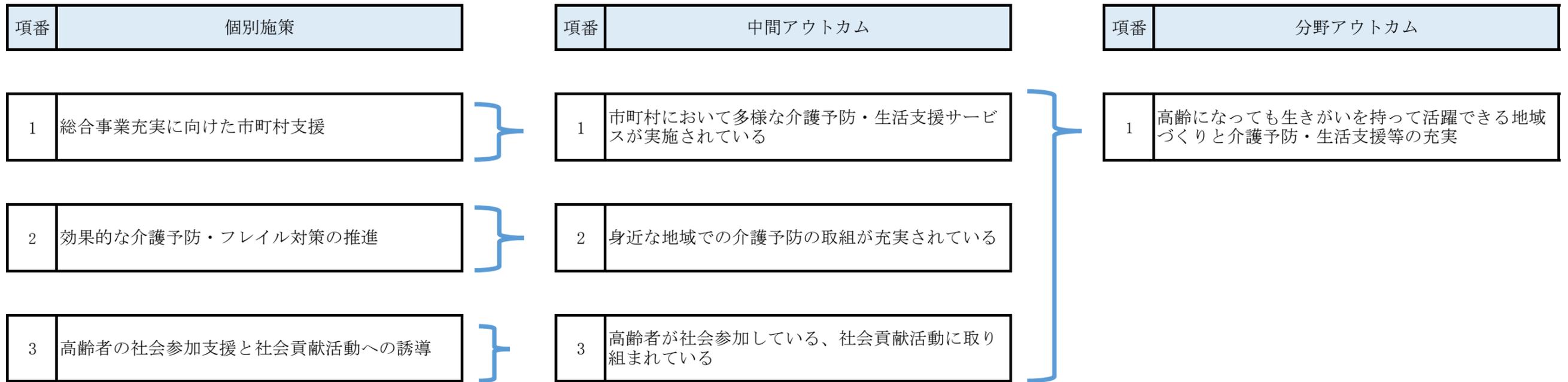
ロジックモデル（第3章1（4）青少年期の保健対策 ひきこもりの一体的支援）



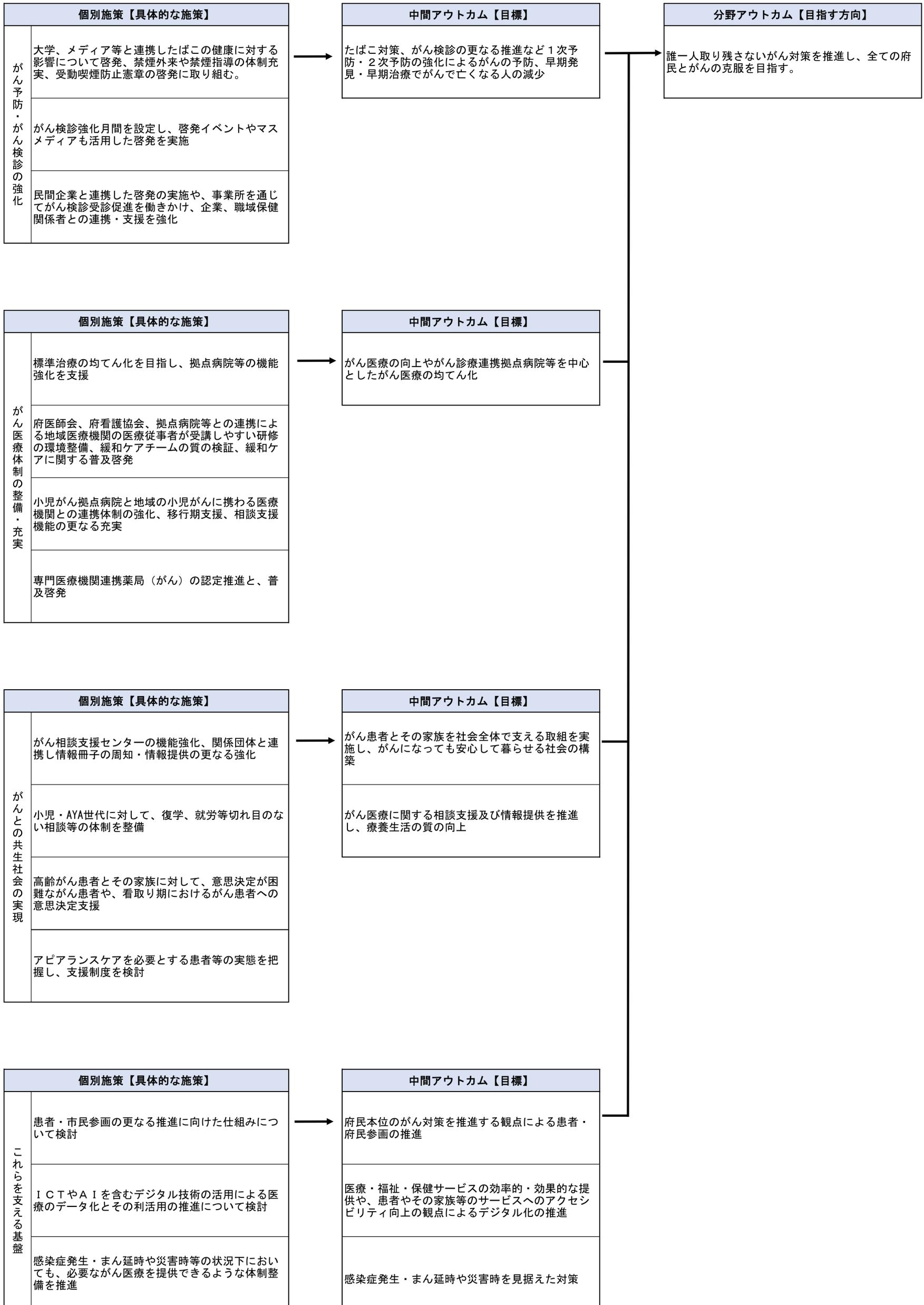
ロジックモデル（第3章1（4）青少年期の保健対策 薬物乱用防止・たばこ・性感染症）



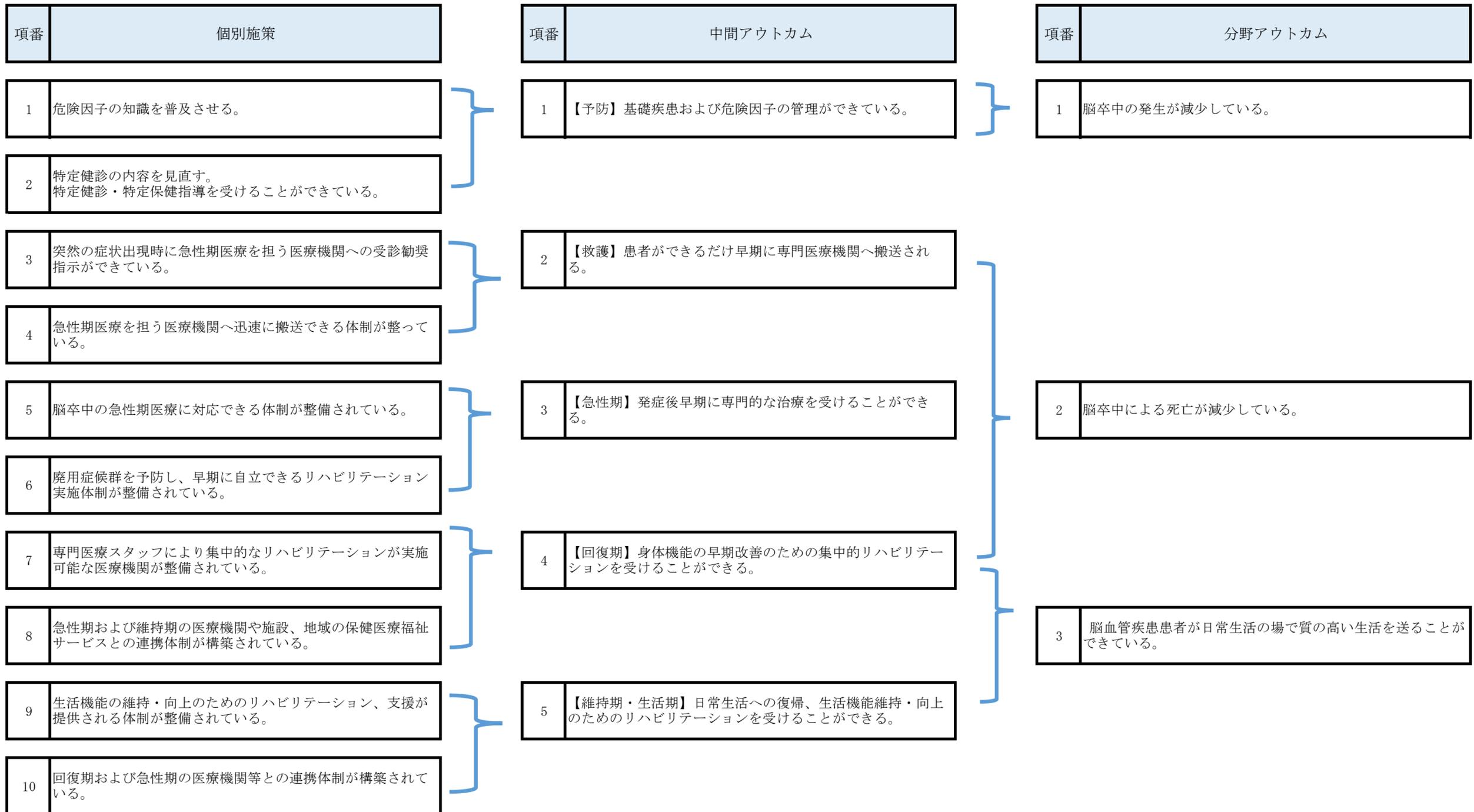
ロジックモデル（第3章1（5）高齢期の健康づくり・介護予防）



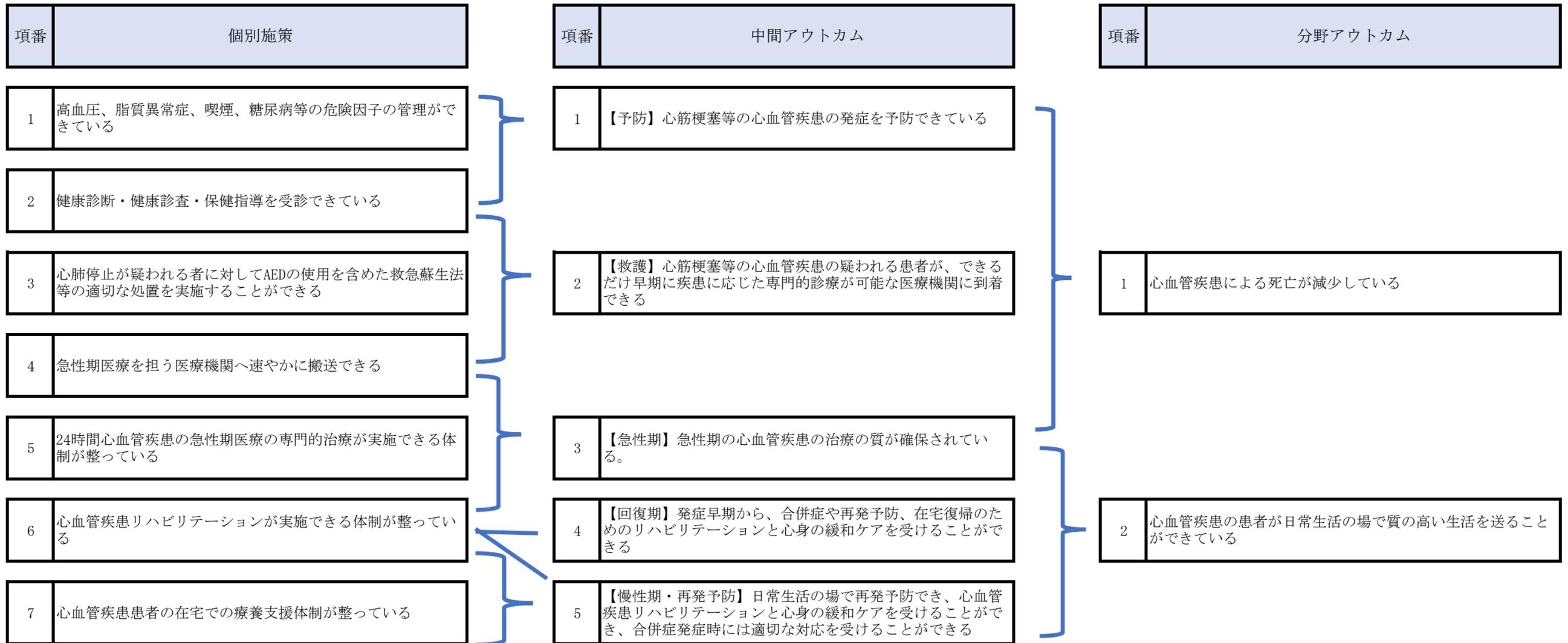
ロジックモデル（第3章2（1）がん） ※今後改変予定



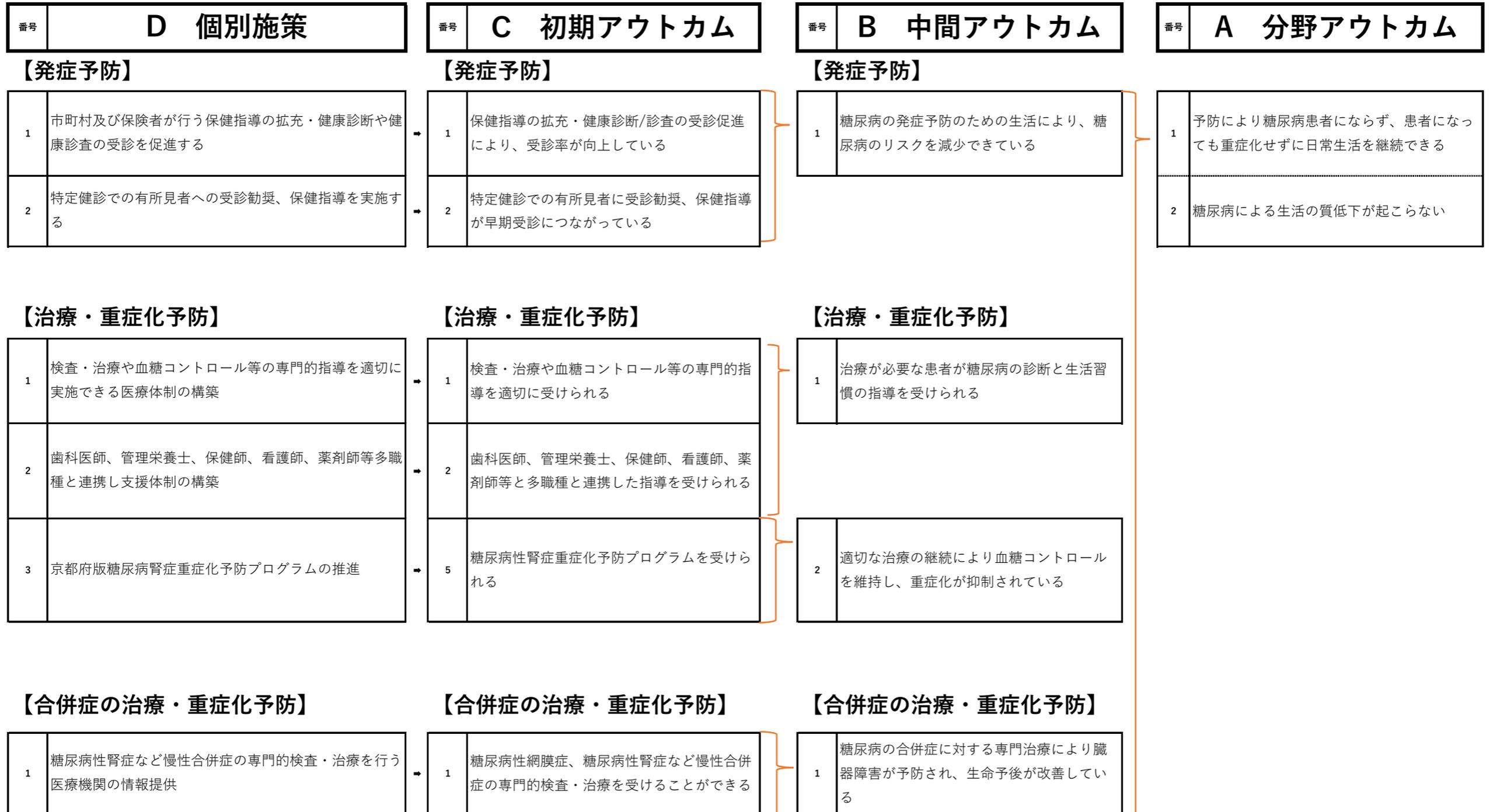
ロジックモデル（第3章2（2）：脳卒中）



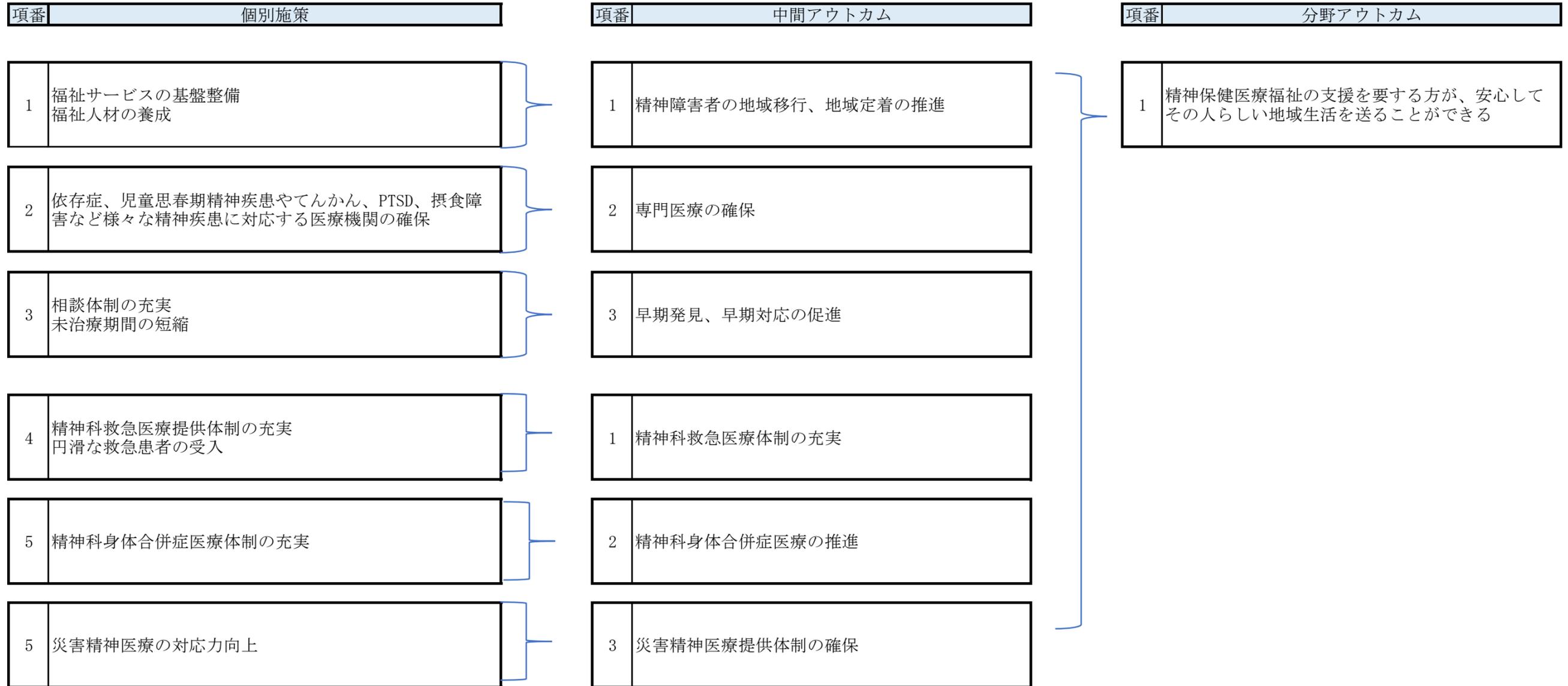
ロジックモデル（第3章2（3）：心血管疾患）



ロジックモデル（第3章2（4）：糖尿病）



ロジックモデル（第3章2（5）精神疾患）



ロジックモデル（第3章2（6）認知症対策）

項番	個別施策
----	------

1	すべての人が認知症を正しく理解し適切に対応できる環境づくり
	指標 認知症サポーターの養成
	指標 京都高齢者あんしんサポート企業の登録拡大
	指標 京都認知症応援大使等当事者による発信機会の拡大
	指標 チームオレンジの設置促進
	指標 認知症介護実践者研修の実施
	指標 認知症対応力向上研修の実施
	指標 認知症予防に関する正しい理解の促進

2	認知症の人の就労、社会参加の支援の強化
	指標 認知症カフェの設置拡大
	指標 認知症本人ミーティングの開催促進

3	若年性認知症施策の強化
	指標 支援者のための若年性認知症研修の実施
	指標 若年性認知症コールセンターの運営
	指標 認知症疾患医療センターにおける若年性認知症支援事例の共有
	指標 圏域ごとの研修会や事例検討会の実施

1	早期発見・早期鑑別診断・早期対応ができる体制づくり
	指標 認知症初期集中支援チームによる支援の充実
	指標 認知症サポート医の養成

2	地域での日常生活におけるバリアフリー化の推進
	指標 認知症サポーターの養成（再掲）
	指標 京都高齢者あんしんサポート企業の登録拡大（再掲）
	指標 異業種連携協議会によるモノやサービス創出支援
	指標 チームオレンジの設置促進

3	相談体制の整備等
	指標 認知症カフェの設置拡大（再掲）
	指標 ピアサポートの実施

4	家族・介護者等への支援の強化
	指標 認知症疾患医療センターにおける本人・家族教室の開催

5	認知症の人の意思決定の支援及び権利擁護の保護
	指標 認知症の人の生活に関わる関係者の意思決定支援スキルの向上

1	とぎれない医療・介護サービスが受けられる仕組みづくり
	指標 京都認知症総合センター・ケアセンターの整備

項番	中間アウトカム
----	---------

1	認知症の本人の活動に対する支援
	指標 認知症の本人の社会参加支援、普及啓発を通じて、認知症に対する社会のイメージを変える

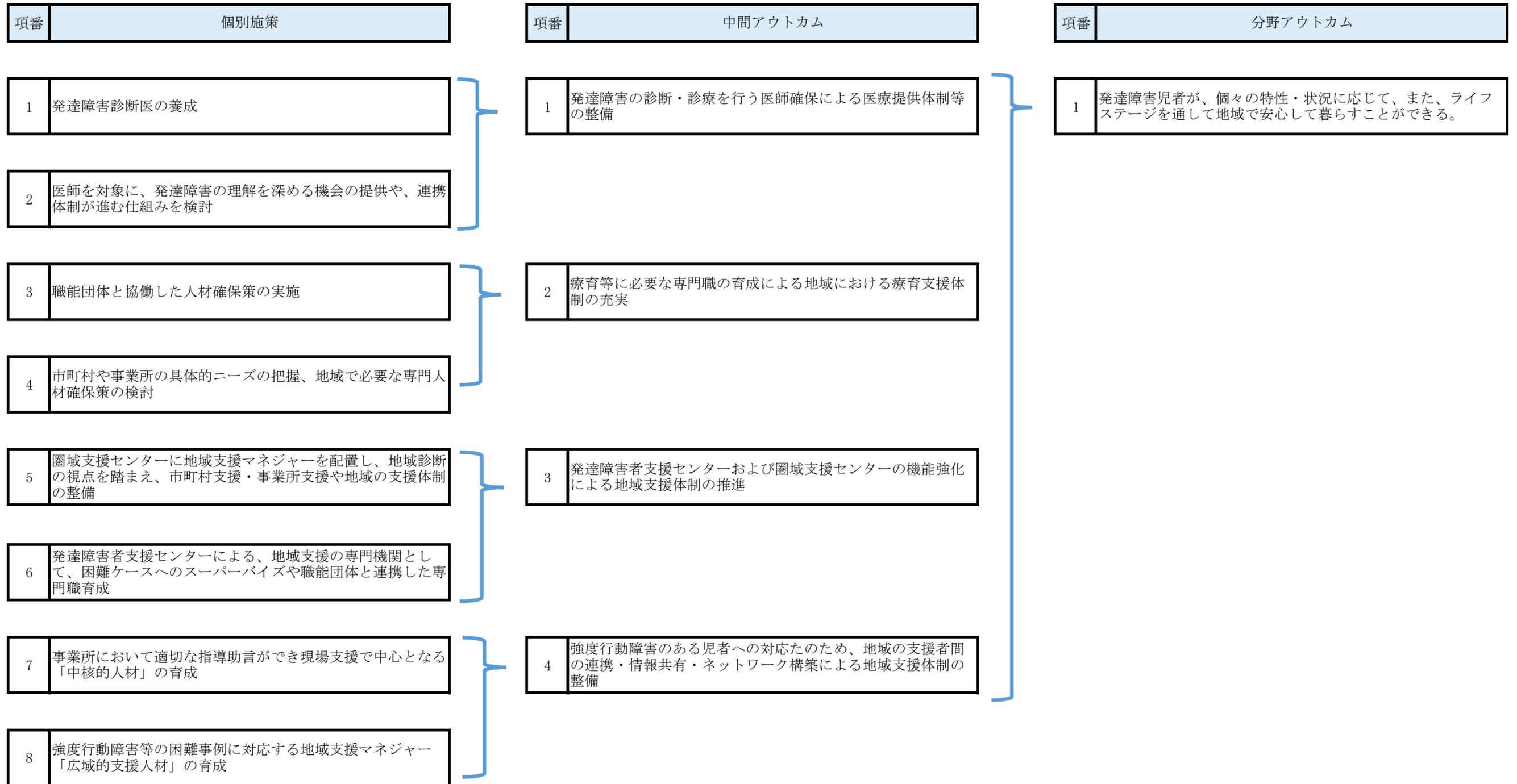
2	認知症の本人・家族を支える地域体制の構築
	指標 診断直後から認知症の本人・家族に寄り添った支援の充実

3	医療提供体制の構築
	指標 状態や環境が変わってもとぎれずに医療・介護サービスを受けられる医療・介護連携体制の構築

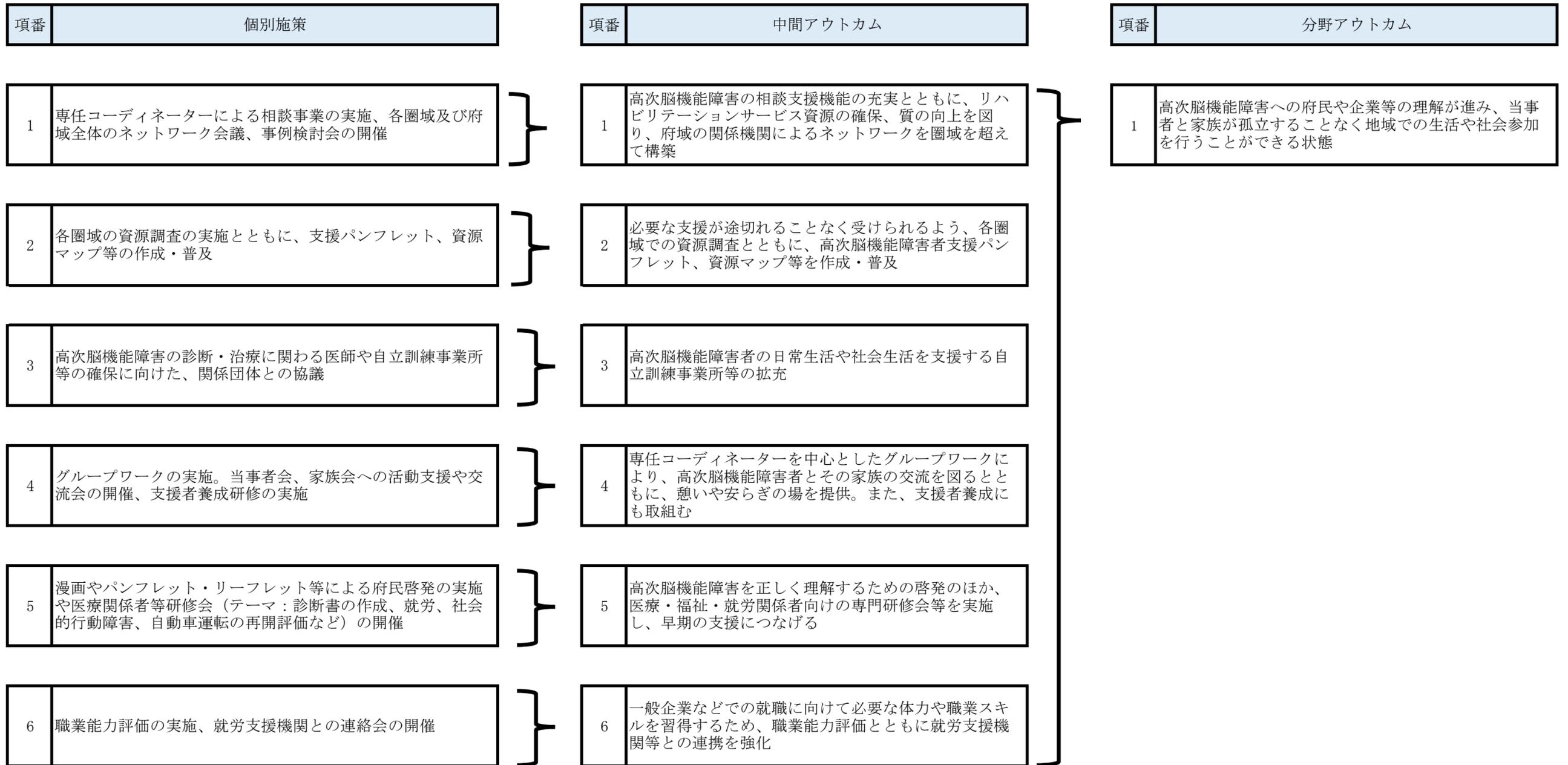
項番	分野アウトカム
----	---------

1	認知症になっても、本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現
	指標 認知症になっても、本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができていると考える認知症当事者の割合

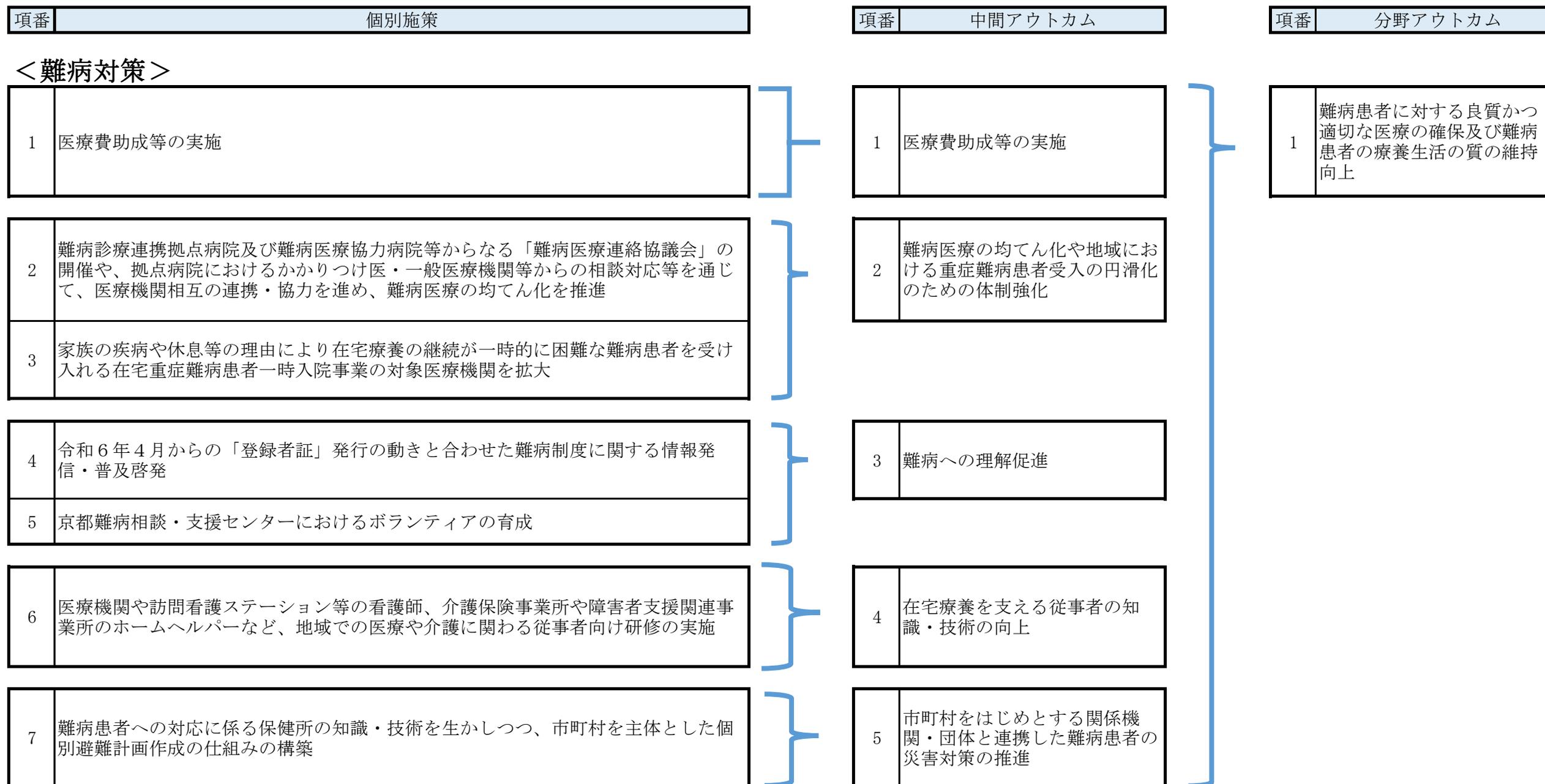
ロジックモデル（第3章3（1）発達障害）



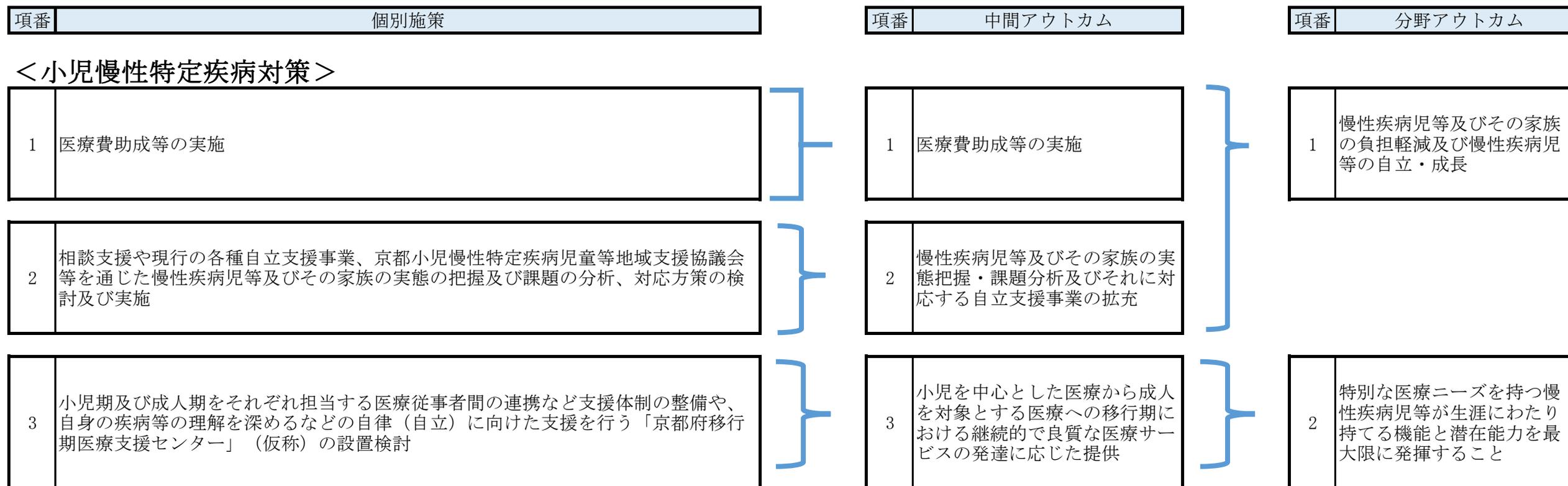
ロジックモデル（第3章3（1）高次脳機能障害対策）



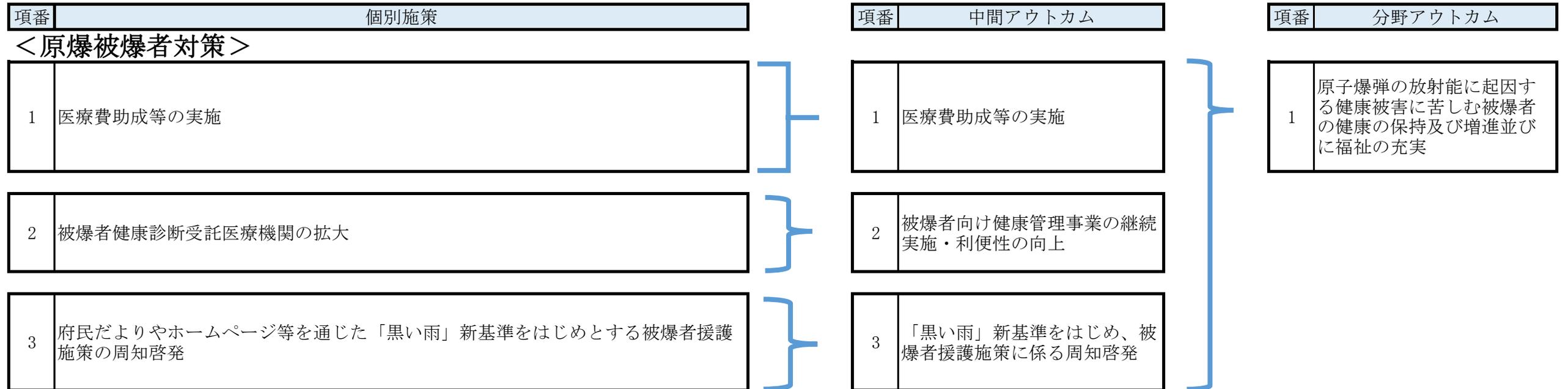
ロジックモデル（第3章3（2）：難病、原爆被爆者、移植対策等）



ロジックモデル（第3章3（2）：難病、原爆被爆者、移植対策等）



ロジックモデル（第3章3（2）：難病、原爆被爆者、移植対策等）



ロジックモデル（第3章3（2）：難病、原爆被爆者、移植対策等）

項番	個別施策
----	------

項番	中間アウトカム
----	---------

項番	分野アウトカム
----	---------

<臓器移植等の推進>

1	府内集客施設等におけるグリーンライトアップ、各種府民参加イベントにおける臓器移植ブースの出典等を通じた普及啓発
2	市民団体等からの依頼に基づく出前講座の実施
3	学校と連携した出前授業の実施（中学校の道徳科の教科書で「臓器移植」が題材として掲載）
4	献血やイベント等に併せて骨髄バンクドナー登録会を実施
5	日赤近畿ブロックさい帯血バンク等との連携を図り、必要なさい帯血を確保
6	京都府臓器移植コーディネーターが臓器移植協力病院を定期的に巡回訪問し、院内体制の整備状況を確認するとともに、情報提供・指導を実施
7	臓器移植協力病院内に複数職員による院内臓器移植コーディネーターを設置し、院内で臓器移植の啓発、マニュアル作成、シミュレーション実施等の体制づくりを推進
8	院内臓器移植コーディネーター協議会等を通じた、臓器提供の経験が豊富な施設から経験が少ない施設等に対する情報・ノウハウの共有

1	臓器移植に関する理解促進及び意思表示率向上のための普及啓発
---	-------------------------------

1	正しい知識や情報を持つ本人の意思に基づいて臓器が提供され、より多くの移植を必要とする人に移植が行われ、健康が回復すること
---	--

2	施設間連携の強化
---	----------

ロジックモデル（第3章3（2）：難病、原爆被爆者、移植対策等）

項番	個別施策
----	------

項番	中間アウトカム
----	---------

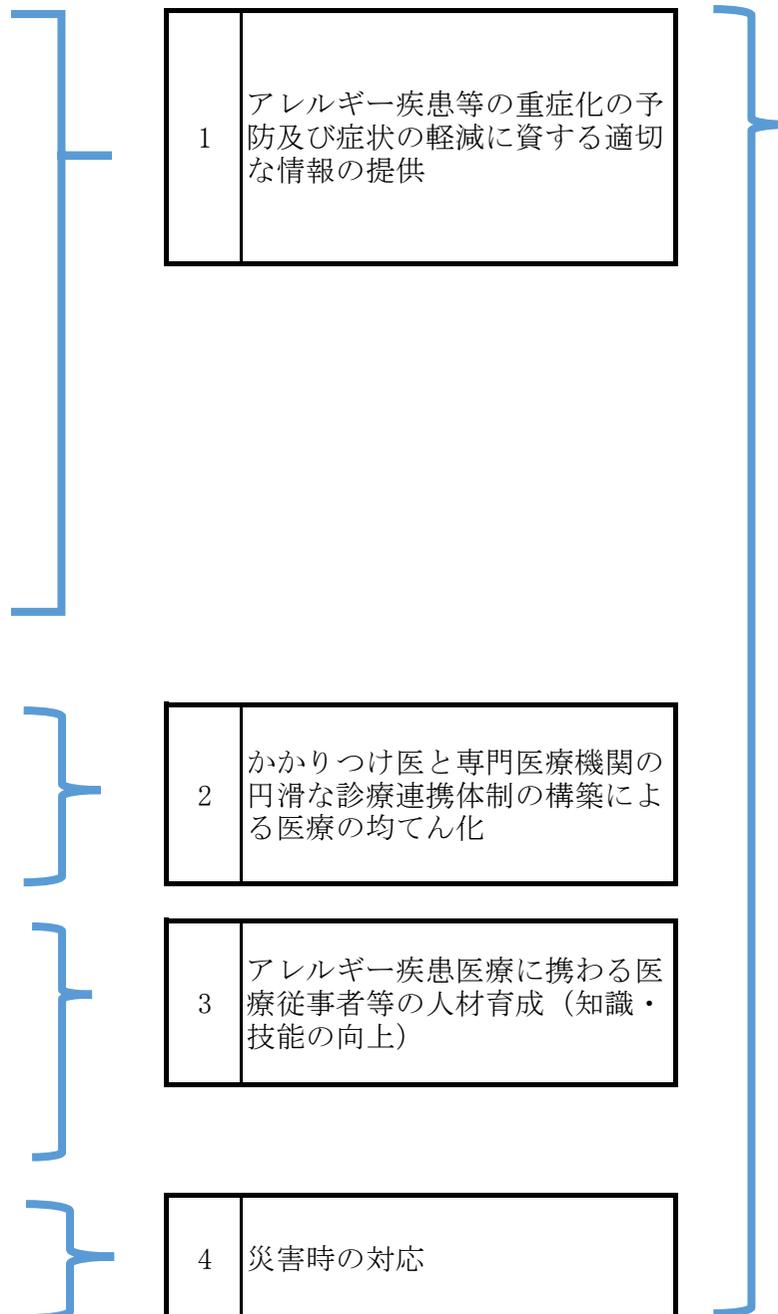
項番	分野アウトカム
----	---------

＜アレルギー対策＞

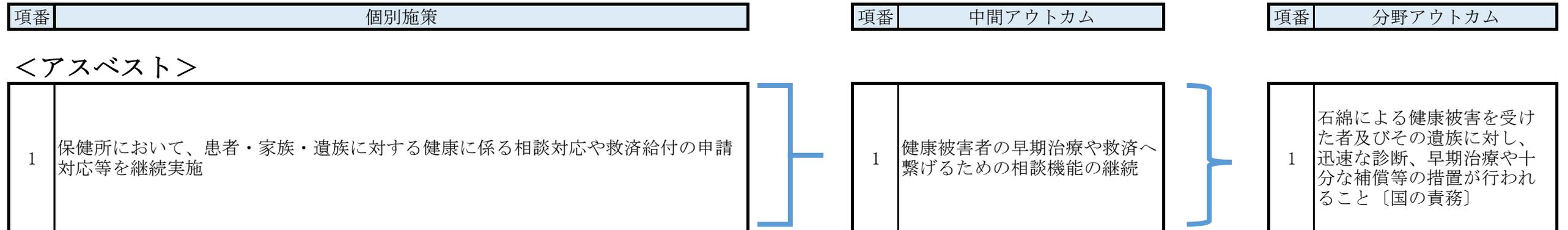
1	府内におけるアレルギー疾患診療医療機関情報のホームページでの発信
2	府民向け講演会等の開催
3	「食物アレルギーの子 京都おこしやす事業」に取り組む協力宿泊施設・食事提供施設のさらなる掘り起こし及びホームページでの発信
4	乳幼児のスキンケアに関する啓発冊子の作成及び市町村への配布
5	化学物質過敏症に苦しむ方への理解や配慮について広く啓発を行うとともに、化学物質過敏症に関する国の研究結果等の情報をホームページ等で発信
6	府内医療機関を対象とした実態調査の結果を活用した病診連携の推進
7	医療従事者向け研修の実施
8	保健師、栄養士や学校、児童福祉施設等の教職員向け研修の実施
9	被災者支援部署との平時からの連携による避難所における食物アレルギーを有する者のニーズ把握、食物アレルギーに配慮した食品等の確保

1	アレルギー疾患等の重症化の予防及び症状の軽減に資する適切な情報の提供
2	かかりつけ医と専門医療機関の円滑な診療連携体制の構築による医療の均てん化
3	アレルギー疾患医療に携わる医療従事者等の人材育成（知識・技能の向上）
4	災害時の対応

1	アレルギー疾患を有する者が、居住する地域にかかわらず等しく適切なアレルギー疾患医療を受けることができ、生活の質の維持向上を実現
---	---



ロジックモデル（第3章3（2）：難病、原爆被爆者、移植対策等）



ロジックモデル（第3章3（3）：肝炎対策）



ロジックモデル（第3章3（5）：健康危機管理）

